



学校だより



青梅市立東小中学校
令和5年度 第1号
令和5年4月27日

目標、努力、そして自信でいこう！

校長 富田 聖和

令和5年度がスタートして3週間ほどが経ちました。児童・生徒たちは、新しい学年になり気持ちも新たになって学校生活を送っています。毎日の学習のリズムにも慣れてきて、先生によく質問をする姿も見られます。

さて、昨年1年間、児童・生徒の様子を見てきましたが、学習や行事によく取り組んでおり、努力をしている姿を見るが多かったです。努力をして得た成功体験は自分自身に達成感とやればできるという自信を与えます。自信がつくと、次の取組にも挑戦していこうという意欲がわき、もう一步高い目標に向けて努力していくことに繋がっていきます。児童・生徒に、この自信をもって取り組ませるためには、成功体験を積み重ねることと、取り組んだことに対しての評価、褒めたり、認めたりすることが大事だと思います。いろいろな失敗体験をすることもあります。失敗したことを引きずるのではなく、そこから次のやるべきことを学び取り、目標をもって努力をし、自分に自信をもって取り組める力を付けて欲しいと願っています。

今年度も、学園と連携を取りながら教育活動を進めていきたいと思っています。学校へのご支援・ご協力のほどよろしく願いいたします。

下記に、始業式での校長の講話を紹介させていただきます。

みなさん、おはようございます。今日から新しい学年が始まりました。みなさんは、それぞれに一つ上の学年になりました。今、どんな気持ちですか？もしかしたら、こんなことをやってみたい、という期待に胸を膨らませているかもしれませんね。

校長先生からは、3つのお願いをしたいと思います。1つめは、これです。「目標」をもってください。人は、何かをするときには、ただ何となくするのではなく、それに取り組むためにできるようになること、やってみたいことなどの目標をもちます。目標をもてばその目標に向かって取り組まなくてはならないことがわかってきます。その取り組まなくてはならないことが2つめのお願いです。それは、「努力」です。努力は、簡単にはできません。途中でいやになってしまったり、あきらめてしまったり、うまくいわずに投げ出してしまうこともあります。その時に、自分もった目標をもう一度思い出して、なんで自分はこの目標をやりたいのかを考えて努力をしてほしいと思います。努力は自分を大きく成長させてくれる力になります。

最後に、3つめのお願いです。「自信」です。人は、何かをやろうとするとき、できるかどうか、とても心配になります。無理かもしれないと思ってやると、失敗することがあります。でも、自分にはできる、これだけ努力してきたのだからと、自信をもってやるとよい結果が出ることがあります。みなさん、ぜひ、何かをやろうとときは自信をもって取り組んでください。みなさんの活躍を期待しています。

校長先生のお話はこれで終わります。

お元気で！～転出された教職員からのメッセージ～

千葉 克之 中学校主幹教諭 (保健体育科)

東小・中学校の児童・生徒のみなさん、楽しい毎日を有り難うございました。生徒玄関前での元気の良いあいさつに、エネルギーを与えられるようで、自分も負けないように、元気に頑張ろうという気持ちにさせてくれました。中学校の体育の授業では、3学期に行った「アルティメット」が強く印象に残っています。最後の方では、レベルの高いゲームが展開され、見ているだけでも楽しく、みんなの成長を感じることができ、嬉しくなりました。野球クラブでは、いいところを見せようと思いつながらも、体がいうことをきかずに、残念に感じることもありました。野球の楽しさを再確認することができました。みなさんのおかげです。

これからの学校生活、学園生活で、嫌になることもあるかと思いますが、そこはみなさんの持ち前の若いパワーで乗り切ってください。たくさん先生方とお話をして自分を成長させていきましょう。みなさんの益々の成長に期待しています。最後になりますが、学校の教職員の皆さま、学園の職員の皆

さま、長い間、たいへんお世話になり有り難うございました。東小・中学校と誠明学園の益々のご発展をお祈りいたします。

深沢 孝之 小学校主幹教諭

竹のような人になってもらいたい。私はいつもこのように思いながらみんなと関わってきました。竹は地面にしっかりと根を張り、上に向かってぐんぐん成長する。そしてしなやかでなかなか折れない。こんな人になってもらいたい。

水木 和子 中学校教諭 (理科)

3月の卒業式はとても素晴らしく感動的なものでした。その式をつくったのは、卒業生、在校生、学園や寮の皆様、東小中学校の教職員の皆様、かかわったすべての方々の力、その心だと思います。1年間でしたがそのような中で一緒に過ごせたことはとても幸せなことでした。ありがとうございました。

在校生の皆さん、理科の知識は将来必ず役に立つときがあります。理科を楽しんでください。

よろしく！～新しく着任した教職員の紹介～

木村 正太郎 小学校主幹教諭

小学校から転任してまいりました。これまでの勤務校と異なることばかりで戸惑うことも多く、ご迷惑を多々おかけしています。でも、小学校の先生方をはじめ、どの先生もみなご親切で、快く教えてくださったり、アドバイスをしてくださったり、感謝の思いでいっぱいです。一日でも早く東小学校について学び、先生方と一緒に子供たちのために働けるよう努めてまいります。どうぞよろしくお祈りいたします。

大木 陽平 中学校主任教諭 (保健体育科)

初めまして。今年度から保健体育の授業を担当する大木です。3年B組の副担任と野球部も担当します。まだまだ慣れないことも多く、日々学びの連続です。「学び」は学校を卒業し社会人になってからも様々な形で続いていきます。この自然豊かな学び舎で、自分から「学び」続けていくための基礎基本を、身に付けていきましょう。よろしくお祈りいたします。

《学校経営方針を紹介します》

こうくん していどうこう ういす せいしん
校訓 師弟同行 WITH*の精神

*WITH：英語。「いっしょに」という意味。

東小・中学校は、誠明学園の広い敷地の中にあり、様々な植物が自生していて、花を咲かせています。この自然豊かな環境の中で児童・生徒への教育活動が行われていることで、とても心が豊かになり、感受性が高くなるのではないかと期待をしています。

学園、寮の先生方には、日頃から学校との連携にご尽力くださりありがとうございます。本校は開校21年目を迎えます。WITHの精神、「チーム学校・学園」で教育活動のさらなる充実に取り組む所存です。

東小学校の教育目標は、「夢に向かう子」「よく考える子」「あいさつのできる子」です。東中学校の教育目標は、「生き方の自立」「学びの自立」「生活の自立」です。小学校で夢を抱き、その夢に向かって学習をし、努力をしていく。中学校では、小学校からの学びのつながりをもって、将来、自分の力で生きていくことができる自立の力を培っていくのが東小・中学校の教育であると感じています。そこに校訓として「師弟同行」「WITHの精神」があり、学校や学園の先生たちが一緒になって児童・生徒たちと活動をしていきます。これが、教師の深い愛情と生徒からの厚い信頼に繋がっていると感じています。これから1年間、この教育目標の実現と校訓を生かして学校経営を実施していきます。皆様のご支援とご協力のほどよろしくお祈りいたします。